

# 全国貸本新聞

復刻版 全2巻

戦後大衆文化の一つに「マンガブーム」が挙げられ、

その普及の一役を、30,000軒を超える「貸本屋」が担っていた。

昭和三〇年・四〇年代に、地域の図書館の役割を果たし、

読書の普及にも貢献した「貸本」を取り巻く諸相を

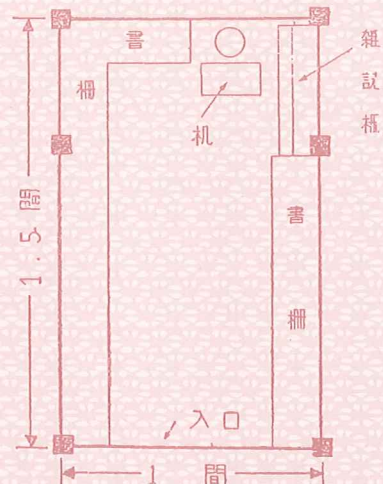
余すところなく伝え、出版物のベストセラーとは異なる

「貸本ベストテン」「漫画ベストテン」などの記事から、

一般庶民の読書を捉える材料として、

またマンガ文化の実態を掌握する

稀覯資料として復刻!



- 貸本ベストセラー
- ①不審のとき 有吉佐和子
  - ②龍馬がゆく 司馬遼太郎
  - ③皇女帝の宮 川口松太郎
  - ④一匹狼の唄 堀本 武彦
  - ⑤海 堀山 鶏太郎
  - ⑥夫婦の設計 源氏 鶏太郎
  - ⑦数はどいつだ 司馬遼太郎
  - ⑧おいで初恋 有吉佐和子
  - ⑨助左衛門四代記 大木 正次
  - ⑩黒部の太陽 藤田 一男
  - ⑪火の国特急 佐賀 庄真
  - ⑫民法入門 花菱 和巳
  - ⑬民法入門 高橋 和巳
  - ⑭船 堀山 鶏太郎
  - ⑮我が心は石にあらず 堀山 鶏太郎
  - ⑯雲の味 堀山 鶏太郎
  - ⑰死の枝 堀山 鶏太郎
  - ⑱快男児産見

(1) 昭和32年 全国貸本新聞 第1号



全国貸本組合連合会機関紙

三万業者の力を結集  
全国貸本組合創立さる

八月十二日 於品川公会堂

全国三万と称される貸本業者は、連合会理事長から経過報告がある新興の業態であるため、各業者の間には、各業者の間に何の連絡もなされておらず、各業者の間に於ける界に於ける互に心許な各業者の自己び、地域地帯を結び、蓋然作り、社会にらし、堂々たるものこそは必要である。



不二出版

- 収録 1957(昭和三二)年9月、1973(昭和四八)年1月
- B5判・上製・総770ページ
- 解説(梶井純)・回想(大竹正春)・年表(三宅秀典)付き
- 付録「新貸本開業の手引」
- 推薦 浅岡邦雄・出久根達郎・内記稔夫
- 本体価価格 20,000円十税

連合会規約

連合会事務所  
東京都千代田区西神田二丁目  
二番地 本会電話内線00545  
理事長 自宅  
東京都大田区大森一丁目A三  
番 梶井 純  
編集 兼 発行 人  
中山 庄二郎  
毎月一回12日発行  
定 価 一部5円

規約の全文は、所属各所に備えつけてあることら、詳しい条文については、御承知願いたい。草について、専業、員、会議、会計、附則、六条に亘るもので、根柢理念として、民主主義がはつきりしている。本規約の他の規約は、

大会の決議は、次の如きものである。  
大会決議  
一、我々は貸本業を通じて、日本の文化興隆に貢献することを期す。  
二、我々は経済活動自由の原則を確認し、再販問題の如き不合理なる運動を排除することを期す。

の初任  
決定した  
早くも各  
和組組  
があり  
十冊知を  
が  
志望があ  
不二出版

戦後の社会的混乱と貧困の時代に、戦前から営まれていた貸本屋は、関西を中心に起きたマンガブーム、とりわけ大阪での赤本漫画ブームをきっかけに一気に広まっていった。

貸本中心の出版社も出現し、さらに専門取次店や、神戸の「ロマン文庫」に端を発し、その後「ネオ書房」によって広まった信用貸し（身分証明書や学生証、米穀通帳などで本人確認し、保証金なしで貸し出す）などの新たな形態が普及した。もちろんマンガの他にも、時代小説や大衆小説、雑誌など、公共図書館がまだ全国的に普及されていない時代に、廉価で本を借りて読めるといった要素も相まって、庶民の間に貸本ブームが巻き起こり、1960年前後には全国で30,000

軒を超える貸本屋が商店街の一角や風呂屋の隣などに出店し隆盛を極め、地域の図書館の役割を果たし、大いに読書の普及にも貢献してきた。

しかしその一方で、青少年を中心とした有害図書問題や衛生問題、さらには出版業界での再販問題や価格問題など、様々な社会現象も同時に表れてきた。本紙は、こうした業界の問題はもちろん、高度経済成長に伴う社会状況の変化を反映した記事も掲載され、特に、一般的なベストセラーとは異なる「貸本ベ」ストテン」や「漫画ベストテン」といった業界専門紙でしか知ることのできない情報が随所に見られる。当時の一般庶民の「読書」を捉える材料として、またマンガ文化の実態を掌握する資料として復刻するものである。

## 貸本世界の貴重な記録

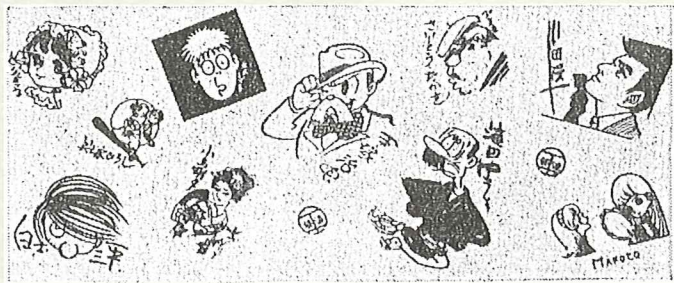
浅岡邦雄  
(中京大学文学部准教授)

全国に三万軒以上、ともいわれた昭和三〇年代の貸本店を記憶している人は、今では一定の年齢以上の人々に限られよう。こどもでも利用できる廉価な貸出料金によって、貸本がひととき読書の楽しみを与えてくれたことは疑いない。私自身、その利用者のひとりでもあった。けれど、それら多くの貸本店の営業活動がどのような状況の中で展開されたのか、これまでまったく知る手だてがなかった。

このたび、不二出版から『全国貸本新聞』が復刻刊行されることとなった。同紙は、昭和三二年八月創立された「全国貸本組合連合会」の機関紙であるが、一業界団体の機関紙にとどまらず、当時の貸本利用者の読書嗜好や、貸本という読書形態がもた

らす社会との軋轢など、昭和三〇年代・四〇年代の読書状況の一面を映す貴重な記録でもある。

従来とはまったく異なる新たな読書の形態が登場しつつある現在、半世紀ほど前に広く利用されていた貸本店という読書空間から、我々が得たものは何だったのか、考えてみる意味はあるだろう。『全国貸本新聞』は、その良き導きとなるはずだ。



推薦します

## 活字文化研究の根本資料

出久根達郎  
(作家・古書店主)

たとえば、一九五九(昭和三四)年暮れに発行された、白土三平の代表作『忍者武芸帳』第一巻の読者は、貸本屋の客であることは間違いないのだが、どういう客であったのか、今ひとつ、はっきりしない。日本漫画史の謎のひとつである。通説では、翌年の、いわゆる安保改定反対デモに参加した大学生たち、とある。

しかし、当時の貸本屋の客は、大半が小中高校生、店員や工員、主婦であった。大学生は多くない。『忍者武芸帳』の初期の読者は、果して、いかなる階層の人たちであったか。

こんな風に、貸本屋の研究が遅れている。そのため、本格的な漫画史や、大衆小説史、風俗雑誌、芸能誌の実態が未だに書かれていない。貸本屋を調査研究せずして、日本

の活字文化が語れるわけがない。

このたび、初めて全国貸本組合の機関紙が、第一号から復刻出版される。これまで出版されなかったのが不思議である。これによって戦後の貸本屋の営業実態が、明らかになる。どんな客が、どんな本を好んで借りていたか、はっきりする。

何より嬉しいのは、貸本屋でしか読めなかった漫画や小説の、書名と著者がわかることだ。昭和三四年四月の貸本屋には、こんな漫画が並んでいた。いわく、森川賢一『中将姫』、堀方太郎『悪魔小判』、池田弘『蠢大名』、清水良『魔像殺法』…覚えてる？

新聞を読んでいると、当時の貸本屋に居る思いがする。私はこの前月から、貸本屋の店員として働いていたのである。

## 「全国貸本新聞」復刻版の出版に想う

内記稔夫  
(全国貸本組合連合会前理事長・  
現代マンガ図書館館長)

この度「全国貸本新聞」が不二出版から復刻されると聞き、我が事のように大変嬉しく思い、且つ懐かしさもあって感無量です。それは私が昨年まで、十四年間第五代目の理事長として務めてきた全国貸本組合連合会の機関紙でもあり、一九五五(昭和三〇)年、私が高校三年生の秋に開業した貸本屋の営業をしてきた期間とも重なり、懐かしい当時の先輩役員諸氏の名前が随所に見られ、なお一九六〇(昭和三五)年の全国読書普及商業組合連合会(全読連)との合併以後は、私自身の名前や写真も散見出来、また貸本業にまつわる出来事や貸本屋の営業実態が誌面にあふれているからでもあります。

しかし昨今では「貸本屋」の存在は非常に影が薄く、若い人達に貸本屋の話をしても古本屋と混同されてしまうことが多く残念でなりません。この復刻を機に一時代を築き、今や世界に冠たるMANGA文化を育てた礎ともなった貸本屋の存在が、少

しても世間に認識されることを望んでいます。奇しくも今春始まったNHKの朝の連続ドラマ「ゲゲゲの女房」の貸本屋のシーンを監修しましたが、私のあいまいな記憶の裏付けにも、この新聞のバックナンバーが役立ちました。本書は画期的な出版であり、貴重な歴史的資料ともなることでしょう。特に貸本マンガの出版案内は、当時の貸本マンガの奥付に発行日の無いものが多く、私の運営する現代マンガ図書館の蔵書整理にも大いに役立っています。今後マンガの研究に携わる者達にとっても役立つ、この分野の研究に貢献し広がっていくことを期待しています。

この復刻にあたり、長年資料の収集に努力された高円寺の貸本屋「大竹文庫」の大作正春氏を始め、「全国貸本新聞」の欠号を提供された全国の貸本屋の皆さんに心から感謝申し上げます。

現在放映中のテレビ化された本

Table with columns: 局名 (Station), 放送名及び原作名 (Broadcast Name & Original Title), 曜日 (Day), 時間 (Time), 編者 (Editor), 著者 (Author), 判型・定価 (Format & Price), 出版社 (Publisher).



作品そのまゝの若さと明るさ 手塚治虫先生訪問記 松本清張氏小伝 明治四十二年生れ五十一才 九州小倉の出身、少年時代...

全国貸本新聞 第66号 (6) 昭和38年2月12日発行

マンガ家のベストセラー東西

つたらの構成、運び方とストーリーを上手、面白くか... 佐賀地区組合ニースより

Table (表一) 時代劇作家番付 (East/West) listing authors and their works.

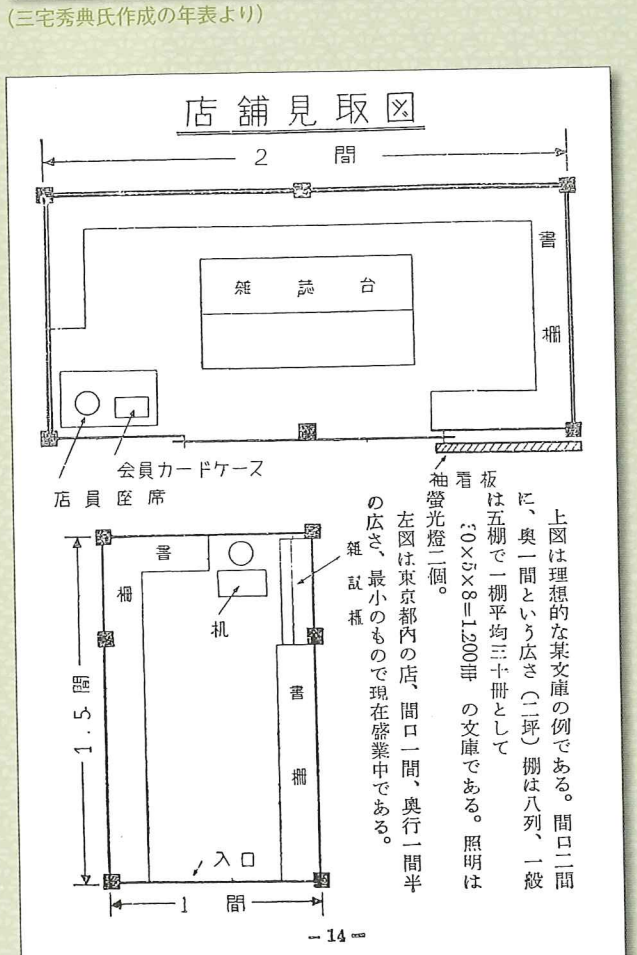
Table (表二) 現代劇作家番付 (East/West) listing authors and their works.

Table (表三) 少女劇作家番付 (East/West) listing authors and their works.

- 宏文堂出版 発行 2月 少女スリラー あした死ぬ人 忍術者シリーズ 忍術者血刃帖 好評交流作家 氷の母 少女マンガ はるかなる友 第一集人気最高として 風雲児 忍者シリーズ 甲賀忍び 残酷奇談(上) 吉倉健

「全国貸本新聞」から作ったマンガ関係年表

- 1957 全国貸本組合連合(以下貸本全連) 会創立/品川公 貸本全連機関紙「全国貸本新聞」(以下貸本新聞) 第1号発行(定価5円/3000部)...



(三宅秀典氏作成の年表より)

# 全国貸本新聞

復刻版  
全2巻

● 原本——全国貸本組合連合会発行

1957(昭和三二)年9月より1973(昭和四八)年1月までの計123号を2冊に合本

● 解説——梶井 純(評論家・貸本マンガ史研究会会員)

● 回想——大竹正春(「大竹文庫」店主)

● 年表——三宅秀典(貸本マンガ史研究者)

● 付録——「新貸本開業の手引」

(都崎友雄著、日本文化振興株式会社刊、1954年9月5日発行)

\*付録は第2巻の巻末に収録

\*第1巻の巻頭に収録

● 推薦——浅岡邦雄(中京大学文学部准教授)

出久根達郎(作家・古書店主)

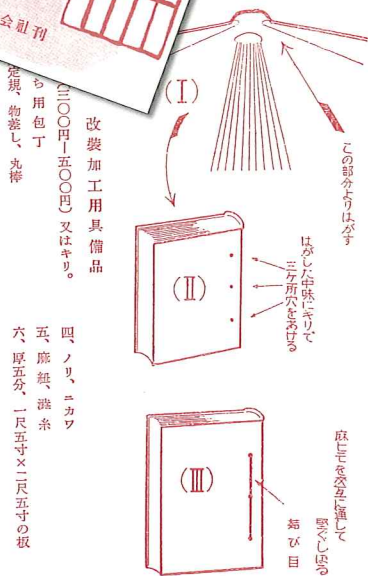
内記稔夫(全国貸本組合連合会前理事長・現代マンガ図書館長)

● 体裁——B5判・上製本・函入り・総770ページ

● 定価——本体揃価格20,000円+税

ISBN978-4-8350-6460-4

● 刊行——2010年6月一括刊行



1962(昭和37)年5月 全国貸本組合連合会第6回東京総会 後樂園にて〔来賓 故 手塚治虫氏・写真最前列中央〕  
(東京読書普及商業協同組合創立50周年記念アルバム、2004年6月刊)より

● 表示価格はすべて税別。

不二出版

〒113-0023  
東京都文京区向丘1-2-12  
電話03-3812-4433  
フアクシミリ03-3812-4464  
振替001600294084